

1. 件名：1号機及び2号機非常用ガス処理系配管の一部撤去作業の進捗状況に係る面談
2. 日時：令和3年12月15日（水）16時00分～16時50分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、岩永企画調査官、大辻室長補佐、

佐藤（雄）管理官補佐、久川係員

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 担当2名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 担当4名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、1号機及び2号機非常用ガス処理系（以下「SGTS」という。）配管の一部撤去作業の進捗状況について、資料に基づき、以下の説明があった。

【今後のスケジュールについて】

- 2021年11月に発生したクローラクレーンの不具合事象に関して、旋回用減速機の分解点検を行ったところ、ピニオンシャフト等の長納期品の交換を要することなく、ベアリング及びギア油、後方レベルゲージ管接続部を含む上部カバーといった消耗品を交換することにより対応が可能と判断した。
- 上記の点検結果を踏まえ、更に年次点検を前倒して実施することにより、SGTS配管撤去作業（準備作業含む）は2022年1月中旬より再開予定となる。

【発泡ウレタンの健全性の確認状況について】

- 構外モックアップ時（2021年7月）及び構内モックアップ時（2021年9月）に注入したサンプル配管の発泡ウレタンの状態を2021年12月上旬に確認したところ、隙間は確認されなかった。
- そのため、2021年9月に配管撤去準備作業としてSGTS配管に注入した発泡ウレタンは、切断時（2022年1月下旬から2月）においても十分な密封性が確保できるものと考えている。

【事故調査に係るガンマカメラ測定の事前確認について】

- ピンホール型、コンプトン型及びiPIX（コーデットマスク方式）のガンマカメラを架台上に3台並べ、対象物との距離を約8mから約2mまで変化させながら比較し、対象物に適したガンマカメラを用いた測定を実施する予定である。
 - 比較に際しては、1号機原子炉建屋内にて採取した約7～9mSv/hのコンクリートガレキを模擬配管内外のどちらかに配置して、事前確認を実施する予定である。
- 原子力規制庁は、上記説明内容を確認するとともに、事故調査に係るガンマカメラ測定の事前確認については、日程や使用資機材等の詳細が決まり次第、適宜共有するよう伝えた。

6. 資料

- 【面談資料】1/2号機SGTS配管撤去の今後のスケジュールについて